

第1回東海市公の施設の指定管理者選定委員会会議録

1 日時

令和8年（2026年）8月6日（木） 午後1時30分から午後3時35分まで

2 会場

庁舎302会議室

3 出席者

(1) 委員

鈴木健司委員長、加藤知子職務代理、鈴木順子委員、酒井清明委員、
坂由季委員

(2) 施設担当課

ア 健康推進課

健康推進課長（柘植）、同統括主任（臼井）、同担当（川地）

イ 農務課

農務課長（浜田）、同主幹（土田）、同担当（榊原）

ウ 社会教育課

社会教育課長（永井）、同統括主任（渡邊）、同統括主任（新美）、
同担当（木下）

(3) 事務局

企画部長（内山）、企画政策課長（河村）、同統括主任（名和）、同担当（成田）

(4) 欠席者

なし（全員出席）

(5) 公開の可否

公開

(6) 傍聴者

0名

(内容)

1 開会

事務局（企画政策課長）より開会を宣言。

2 あいさつ

星川副市長より挨拶。

3 委員紹介

各委員および事務局職員の自己紹介を実施。

4 委員長の選出及び職務代理者の氏名

指名推薦により委員長に鈴木健司委員を選出。

委員長の指名により職務代理者に加藤知子委員を指定。

5 公の施設の指定管理者の管理運営状況の評価及び候補者選定についての諮問

星川副市長より委員会へ諮問書を授与。

6 諮問補足説明

管理運営状況の評価の進め方について事務局（名和統括主任）より説明。

7 令和7年度（2025年度）施設の管理運営状況の評価について

(1) 担当課説明及び審議

施設担当課より資料に基づき管理運営状況の評価について説明および審議。

①東海市しあわせ村（健康推進課）

②東海市クラインガルテン（農務課）

③東海市立上野公民館（社会教育課）

④東海市創造の杜交流館（社会教育課）

8 今後の予定について

事務局より第2回（8月18日開催・養父児童館・養父健康交流の家現地視察予定）の開催予定について説明。

9 閉会

企画政策課長より閉会を宣言。

主な質疑は以下のとおり

令和7年度（2025年度）施設の管理運営状況の評価について

①東海市しあわせ村（健康推進課）

委員：

事業評価書の補助資料13ページについて、プールろ過装置の検査が「新設備のため時期をずらし2回に分けて実施」とあるが、時期が遅れたことによる衛生上の問題はなかったか。

担当課：

温浴室のリニューアル工事に伴い、令和7年度からオープンした関係で検査回数が通常より増えたため、手厚い検査を行う目的で業者調整のうえ2回に分けて実施した。遅れによる衛生上の問題は一切生じていない。

委員：

14ページの清掃業務について、フローリング、シート、タイルカーペット等の床清掃が細かく分かれているが、規定の回数はきちんと対応されているか。

担当課：

施設面積が非常に広いため、毎月の休館日を利用して計画的に分散実施している。規定の回数については、市指定周期に定められた回数をすべて満たして実施している。

委員：

親会社（愛知製鋼）の経験者を機械スタッフとして再雇用し修繕費を削減している点について、その方の技術やノウハウは他のスタッフや次の担当者にも継承できる仕組みになっているか。

また、19ページのアンケート結果で不満の声に「対応済み」とあるが、今後も利用者の不満対応を迅速に行い、満足度を向上させてほしい。

担当課：

修繕の内製化については、専門的なスキルを持つ再雇用スタッフの知識や経験を他のスタッフへ伝授・継承できるよう、指定管理者（アイコーサービス）へ働きかけていく。

アンケートの意見についても真摯に受け止め、引き続き運営改善に努めていく。

委員：

2 ページの「サービスの安定性の評価」において、自己評価に「令和 7 年度高熱費精算分 1, 1 6 7 万 6, 0 0 0 円の返還を予定している」とあるが、この精算の仕組みについて教えてほしい。

担当課：

協定締結時に設定した光熱費の基本単価に対し、実際の単価が 5 % 以上上下した場合は翌年度に精算する規定を設けている。令和 5 年度に設定した単価が非常に高かった時期のものであったため、現在の単価が 5 % 以上安くなり、差額を市へ返還する手続きを進めている。

委員：

通常、指定管理料の精算規定は設けないことが多いと思うが、しあわせ村でこのような精算を行う理由は何か。

担当課：

しあわせ村は指定管理料の 7 ～ 8 割を光熱水費が占めている。社会情勢による単価の変動のみで指定管理者の利益や不利益が極端に出るのを防ぐため、しあわせ村限定の協定条件として 5 % 以上の増減における返還・追加交付の精算条項を設けている。

委員：

5 ページの経営状況分析指標の計画欄で、収支が約 1, 6 0 0 万円の赤字計画となっているのは、この光熱費返還等があらかじめ見込まれていたためか。

担当課：

令和6年度のリニューアル工事による休館期間分の返還金等を令和7年度予算上で整理・反映させた表示によるものである。

委員：

温浴室のリニューアル工事により、利用者の視点からどのような変化があったのか。

6月上旬の利用時に若干寒さを感じたため、温度管理等について指定管理者に配慮を伝えてほしい。

担当課：

更衣室やタイルを整備したことにより利用者の皆様により快適にご利用いただける施設となりました。

施設の温度管理については、利用者の貴重なご意見として指定管理者に共有し、室温・水温等の適切な管理に努める。

〔審査結果〕総合評価：B

②東海市クラインガルテン（農務課）

委員：

事業評価書11ページのアンケート自由記述欄に「管理者の目が届かない時、焼いている人を見かけます」とあるが、抜いた雑草等を燃やす行為は許可されたエリアで行われているのか。また、野焼きや不法投棄等に対する対応マニュアルや消火設備はあるか。

担当課：

施設内での野焼きや不燃ゴミの焼却は原則禁止している。野焼きを行う前提での消火設備等は設置していないが、水くみ用の水栓等はあるため消火対応は可能である。指定管理者より利用ルール遵守の指導・注意喚起を徹底している。

委員：

農園で発生するゴミや残材の処分についてのルールはどうなっているか。

担当課：

原則として利用者が各自で持ち帰るルールとなっている。ただし、指定管理者の自主事業として年3回ゴミ回収事業を実施しており、希望者は有償で処分できる機会を設けている。

委員：

アンケートの自由記述欄（11ページ）を見ると要望や不満点ばかりが目立つが、満足している利用者の意見も反映されているのか。

担当課：

自由記述欄はどうしても要望や不満点が書かれやすい傾向がある。良い評価をつけていても要望として書く場合もあるので、どの評価を付けた人がどの自由記述をしたのか照らし合わせて確認をする。また、全体としては満足度87%と高い評価を得ているため、アンケート結果の表記方法や評価への反映の仕方については今後検討していく。

委員：

みかんの木の老朽化に伴う改植（植え替え）を行ったとのことだが、植え替えてから十分に収穫できるようになるまで何年くらいかかるか。

担当課：

植え替え後、収穫体験ができるまで約3年休ませ、4年目から段階的に収穫を開始する計画で順次改植を進めている。一般的にみかんの木は7～8年目から収穫量が増え、10年～25年頃が最も安定した盛期となる。

委員：

みかん収穫体験について、募集60組に対して633組もの応募があったとのことだ

が、今回は収穫量に合わせて参加枠を絞ったのか。また、今後の参加枠拡大の見通しはどうか。

担当課：

今回は安全・円滑な運営を行うため、1組4人換算で60組（約240人）に枠を絞り抽選制で実施した。過去（改植前）に枠を制限せず実施した際は、約2,000人が殺到して2日でみかんが無くなってしまった経緯がある。今後は改植した木の成長と収穫量の回復に合わせて、徐々に受け入れ枠を広げていく計画である。

委員：

指定管理者が変わって2年目となるが（中村土木建設）、前指定管理者と比較して運営の特徴や向上した点はどこか。

担当課：

ベテランの管理スタッフを一部継続雇用して知識を継承しつつ、建設業者としての強みを活かしてきめ細かな除草や施設管理を実施している。初年度に見られた利用者とのコミュニケーション上の課題も改善され、円滑な運営が行われている。

委員：

所管課の課題として「自主事業の応募数が少なく集客が振るわない」とあるが、みかんの収穫量の減少と関係があるのか。また、今後の集客改善策を教えてほしい。

担当課：

収穫量との直接的な関係はない。単発の講習会や写生大会等では集客が難しかったため、今後はみかん収穫体験などの人気イベントと組み合わせた開催や、PR方法・講座内容の周知方法を工夫して集客を図っていく。

〔審査結果〕 総合評価：B

③東海市立上野公民館（社会教育課）

委員：

利用者の高齢化が進んでいるとのことだが、受講者が自用车で来館できなくなった場合の公共交通機関の利便性や対策についてどのように考えているか。

担当課：

高齢化による交通手段の確保は課題となっている。施設単独での対応は難しいが、市のらんらんバスや、地域で始まった助け合い交通（チョイソコ等）の利用・普及状況を見守りつつ、利便性向上に努めていきたい。

委員：

利用者満足度は前年より大幅に上昇しており事業評価（A 評価）も高いが、所管課の総括評価を「B」とした理由は何か。

担当課：

指定事業・自主事業の満足度は非常に高く A 評価に値するが、施設全体の日常的な維持管理業務や運営面を含めた総合的な判断として「B 評価」とした。

委員：

3 ページの支出項目で、「租税公課」が計画および前年実績より約 1 3 0 万～1 4 0 万円増えている理由は何か。

担当課：

前年度（令和 6 年度）における指定管理業務の収益・利益が想定以上に高かったことと、支出が抑えられたことに伴い、課税される法人税や消費税等の税額が増加したことによるものである。

委員：

4 ページのその他追記項目で、修繕費が大幅に増加している理由を教えてください。

担当課：

市が実施した全館照明機器の LED 化工事に合わせて、事務室の天井張替修繕や、会議室の防音性を高める修繕工事を前倒しして一括実施したためである。なお、50 万円以下の修繕は指定管理者の負担で実施している。

委員：

アンケートで毎年「高齢者の階段の昇降が大変」「駐車場不足」という指摘が出ているが、エレベーター設置などの対策はできないのか。

担当課：

建物が古く構造上の制約が大きいいため、内外ともにエレベーターの新設は極めて困難である。また、建物の目標耐用年数（80 年）に対する残存年数と投資コストのバランスからも難しい。手すりの設置や階段での事故防止・安全管理を徹底していく。

〔審査結果〕総合評価：B

④東海市創造の杜交流館（社会教育課）

委員：

10 ページの事業計画・実績一覧表において、いくつかの事業が「未実施」となっている理由を教えてください。（11 番 声優講座、16 番 近隣大学卒業制作展示、7 番 アート展、18 番 360 度映像など）

担当課：

声優講座は9月の回遊講座で参加者が振るわなかったため、別の需要の高い講座に振り替えた。近隣大学の卒業制作展示は年度途中からの調整で大学側のスケジュールと合わなかった。アート展は年度内での作品搬入・調整が難しく見送った。360 度映像等は、より人気の高い他の講座に注力するため実施を見送った。

委員：

当初計画の回数から大幅に減少したり、1回のみの開催にとどまった講座がある理由は何か。

担当課：

開館1年目ということもあり、実際に開催してみてもの参加者数のニーズや講師料等の費用対効果を勘案し、計画を柔軟に見直しながら実施したためである。

委員：

11ページ以降の表の左右の関係（予定と実績）と、13ページのNo. 20・21の行で右側の表セルが重複しているのは表記ミスか。

担当課：

左右の表は予定と実績がリンクしている。13ページの重複表示は、12月4日に実施した「街歩き撮影&歴史紹介動画編集」講座が2つの項目に跨がる内容であったため、重複して該当することを示す表現となっている。

委員：

11～13ページのアンケート満足度欄がバー（—）表示になっている箇所があるが、これはアンケートを実施しなかったということか。

担当課：

フラットに立ち寄って参加するイベントや、実施タイミングの都合でアンケートの取得が困難だったものについてバー（—）表記としている。

委員：

23ページの職員研修（No. 7「救急対応研修」）が9月予定から3月に遅れた理由と、24ページの「電気設備点検」が10月から2月に変更された理由は何か。

担当課：

救急対応研修は消防署へ AED 講習を依頼した際のスケジュール調整による遅れである。電気設備点検は、施設完成前の開館計画段階の予定から、実際の施設運用に合わせて最適な時期に調整したためである。

委員：

26 ページの広報計画で「周辺地域版回覧板」が未実施となっている理由は何か。

担当課：

開館後、近隣町内会へ施設 PR チラシの回覧板への挟み込みを相談したが、施設単独の PR チラシは回覧できないとの回答があったため実施を取りやめた。

委員：

9 ページの「共用採用状況等」の表で、凡例（丸や四角の記号）の説明が一部漏れている箇所があったので確認してほしい。

担当課：

一部実施等を示す記号だが、説明の不備についてお詫びし、修正対応する。

委員：

実際に施設を利用した際、床の油染みへの注意や、看板用バトンの不在など使い勝手に気になる点があった。また、施設のコンセプトが YouTube 全盛期の映像編集に寄りすぎている印象がある。現在は ChatGPT や AI などの技術が進化しているため、生成 AI 活用講座などを取り入れたり、映画の割引日や飲み物持ち込み等の情報 PR を工夫して利用率向上を図ってほしい。

担当課：

映画上映については、劇場公開（ファースト館）終了後の「セカンド館」として提携配給会社から作品を選定し、4 週間遅れ等でシニア層向けに提供している。講座内容や PR 手法についても知恵を絞り、若い世代や幅広い層に届くプログラミング・AI 施策等を検討していく。

委員：

2026年に入り1～3月の施設稼働率が20%台に上昇してきており、AI講座なども取り入れられている。初年度の難しさはあったと思うが、今後の伸びに期待したい。

担当課：

初年度の実績や課題を踏まえ、次年度以降の利用促進・プログラム改善にしっかり取り組んでいく。

委員：

映画作品の選定基準や、劇場公開（ロードショー）から時期をずらして上映している理由・仕組みについて教えてほしい。

担当課：

知多メディアネットワークがイオンシネマ等のシネコン（ファースト館）と提携しており、創造の杜交流館はその後の「セカンド館」として位置づけられている。イオンシネマ等で人気のあった作品の中から、当館の主な利用者層であるシニア層のニーズに合う作品をスタッフが選定している。通常、劇場公開終了後からおおよそ4週間遅れ程度で上映をスタートする形で運営している。

〔審査結果〕総合評価：C

※1年目で実績がなく稼働率目標（60%）に対して17.8%と低水準であり、事業収支もマイナスとなったため数値上はC評価とするが、初年度の計画策定の難しさや利用者満足度の高さを考慮し、次年度以降のプラン改善を期待する意見を附す。